

文学教養講座

主催 中央市立玉穂生涯学習館

演題 「日清・日露戦争と第一次大戦の本質」

副題 『坂の上の雲』では分からない世界史と日本の近・現代史

講師 江宮隆之さん（作家）

講師 江宮隆之氏より

今年二〇二四年は、日清戦争から一三〇年、日露戦争から一二〇年、第一次世界大戦から一一〇年という節目の年でもあります。日清・日露戦争は、維新後の明治政府が初めて体験した海外戦争です。日本も参戦した第一次大戦は、それまでの世界史の「終着点」であり、新しい世界史の「出発点」でもありました。

ロシアによるウクライナ侵攻は、二〇二二年二月に起きてから二年目に入っています。実は、「現在の国際情勢は、第一次大戦前夜の国際情勢に似ている」との指摘もあります。欧米は、「望まぬ戦争」に突入しかねない危険性を孕んでいます。アジアにおいても同様であると思います。

こうした節目の年を機会に、私たちは経験や歴史から得た知恵を生かすべきではないかと考えます。名著『坂の上の雲』とは異なる視点で、日清・日露戦争と第一次大戦の本質を分かりやすくお話したいと思います。

日時 令和六年六月十五日（土）

時間 午後一時三十分～三時（受付 午後一時～）

場所 玉穂生涯学習館 二階視聴覚ホール 定員一八〇名

◎玉穂生涯学習館の駐車場が満杯の場合は、道向いにある玉穂支所裏側の駐車場を御利用ください。正面は、児童館利用者の駐車スペースになっています。利用することはできませんので、お気を付けください。

◎事前申し込みは不要です。 ※問い合わせ先 230-7300

【講師紹介】江宮隆之（えみや・たかゆき）

山梨県生まれ。作家。山梨日日新聞記者・東京支社長・論説委員長などを経て独立。『経清記』で歴史文学賞、『白磁の人』で中村星湖賞受賞。『白磁の人』は映画化される。他に作品は『花の歳月 武田勝頼』『天下の雨敬 明治を拓く』『政治的良心に従います 石橋湛山の生涯』『満洲ラプソディ 小澤征爾の父・開作の生涯』など100冊あまり。また「WEB歴史人」などで歴史エッセーを連載中。